

NetCommons2 と Connect-CMSの違い

2024/09/26

※本マニュアルで使用しているスクリーンショット画像は、Connect-CMS のバージョンによって変更されている場合があります。

(株)オープンソース・ワークショップ



OpenSource-WorkShop.jp

目次

◆ Connect-CMS のレイアウト.....	3
1. ページ、プラグイン、カラムとは.....	3
1-1. ページとは.....	4
【スマホ画面では】.....	4
1-2. プラグインとは.....	5
1-3. カラムとプラグインの関係.....	5
1-4. フレームとは.....	6
2. ログインとログアウト.....	7
【ログインボタンが表示されていない場合】.....	8
3. ID・パスワードを忘れた場合.....	9
3-1. IDを忘れた場合.....	9
3-2. パスワードを忘れた場合.....	9
4. スマホでのログイン・ログアウト.....	10
◆ NC2と Connect-CMS の違い.....	12
1. セッティングモードについて.....	13
2. プラグインの追加.....	14
3. ページ管理関係.....	16
3-1. ① ページ一覧.....	18
3-2. ② ページの登録(新規作成)と詳細な設定.....	18
4. フレーム関係.....	19
4-1. フレームのタイトル、デザイン、幅の変更.....	19
【NC2のフレームのグループ化について】.....	19
4-2. フレームの編集.....	21
4-3. フレームの削除.....	22
5. 記事をきれいに仕上げるコツ.....	23
5-1. つねにスマホで見ることを念頭に記事を書く.....	23
5-2. Word で記事を作成してはいけません.....	23
5-3. スペースで体裁を整えてはいけません.....	24
5-4. 表は直接WYSIWYGで作成.....	25
◆ サポートについて.....	26

◆ Connect-CMS とは

Connect-CMS は、スマートフォンやタブレットなど多種多様なデバイスに適応したWebサイトを簡単に作成することができるシステムです。

NetCommons2(以下 NC2)はパソコン(以下 PC)での使用を想定しており、スマートフォン(以下 スマホ)での使用・閲覧は想定されていませんでした。

そのため、スマホで実際にサイトを閲覧した際、きれいに見えないことがよくありました。

一方 Connect-CMS では、スマホやタブレットなど各種デバイスに対応したサイトを簡単に作成することができ、さらにいろいろなデバイスの画面幅に合わせて自動的に最適な大きさで表示させることが可能です。

ここでは、NC2と Connect-CMS の違い、Connect-CMS の基本的な操作方法をご説明します。

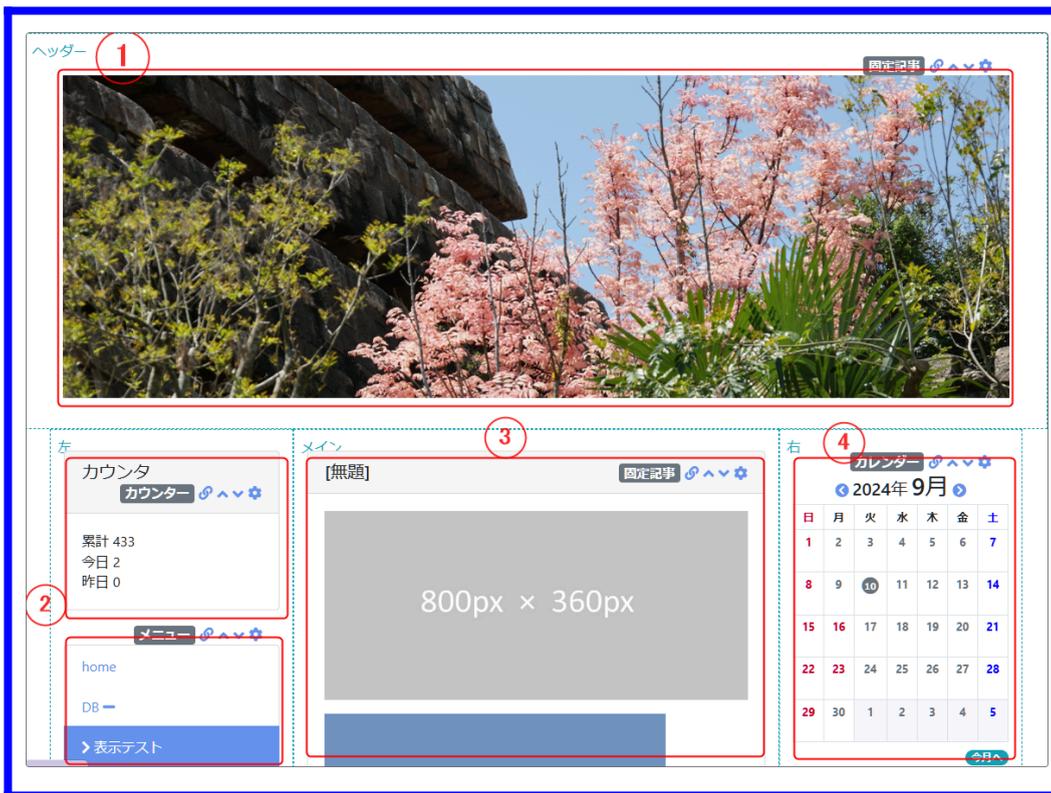
◆ Connect-CMS のレイアウト

1. ページ、プラグイン、カラムとは

Connect-CMSでは、「ページ」「プラグイン」「カラム」「フレーム¹」といった名称を使用しています。**ページ**は、一つまたは複数の**カラム**や**プラグイン**で構成され、**カラム**ごとにプラグインを追加することができます。

以下は、ページ内の各カラムに色々なプラグインを置いた一例です。

図【ページ構成例】(※これは一例です)



【例で使用しているカラムとプラグイン】

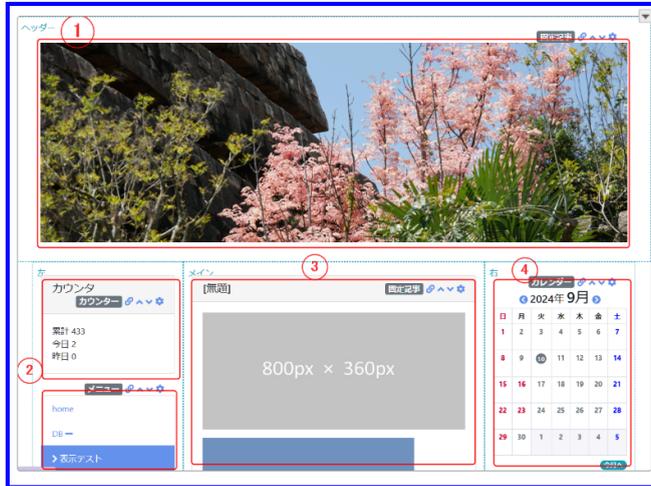
	カラム	プラグイン (NC2ではモジュール)
①	ヘッダーカラム	固定記事プラグイン (NC2の「お知らせ」モジュールに該当)
②	左カラム	カウンター(アクセスカウンター)、メニュー
③	メインカラム	固定記事プラグイン(お知らせモジュール)
④	右カラム	カレンダー

¹ ※「フレーム」に関しては [1-4. フレームとは](#) で説明します。

1-1. ページとは

Connect-CMS は、サイトは全て「ページ」で構成されていて、そのページの集まりで1つの「サイト」を形作っています。

「パブリックスペース」、「グループスペース」、さらには「ルーム」もなく、シンプルに「ページ」のみで構成されています。[3. ページ管理関係](#)



ページとは、4ページの[図【ページ構成例】](#)の青線の枠内全体のことで。

例としてヘッダーカラム、メインカラム、左カラム、右カラムを使用していますが、使用するカラムは管理者による設定で変更することができます。

【スマホ画面では】



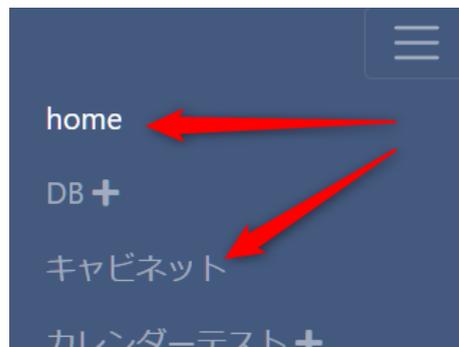
スマホやタブレットで見ると、画面がパソコンに比べて狭いためこのように表示されます。

上から① ヘッダーカラム、③ メインカラム、② 左カラム、(以下この図には表示していませんが)④ 右カラム

左右のカラムエリアにあったプラグインは、それぞれメインカラムの下に表示されます。

この時、各カラムの表示順を変更することはできません。

また、画面右上にあるこのマークを「ハンバーガーメニュー」といい、押下すると下のようなメニューが開き、通常のメニューと同様に各ページにはここから移動することができます。



1-2. プラグインとは

NC2系で「モジュール」と呼んでいた機能です。

Connect-CMS では「プラグイン」と呼びます。

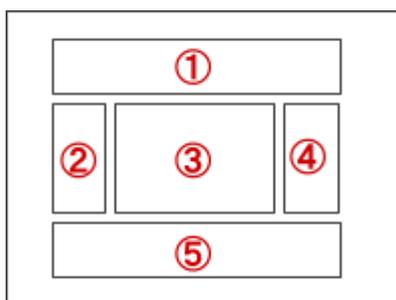
NC2でよく使われていたモジュールで、Connect-CMS では使用できない、もしくは名称が違うなど主なプラグインは以下のとおりです。

NC2モジュール名	Connect-CMSプラグイン名	メモ
お知らせ	固定記事	
iframe	－(ありません)	固定記事で代替、固定記事内に表記
アンケート	－(ありません)	フォームの「アンケート」機能を使用
小テスト	－(ありません)	
日誌	ブログ	
回覧板	－(ありません)	
Todo	－(ありません)	

※Connect-CMS のプラグインに代替がないモジュールが使用されていた場合はご相談ください。

1-3. カラムとプラグインの関係

ヘッダーカラム、メインカラムなどの各カラムにはそれぞれ必要に応じてさまざまなプラグイン(モジュール)を設置することができます。



※プラグインの追加方法については、[2. プラグインの追加](#) を参照

①	ヘッダーカラム	全てのページに同じヘッダーを設置することも可能です。 主に写真や図など、サイトの趣旨をイメージしたものを使用することをお勧めします。
②	左カラム	単独のページのみ、複数のページ、どちらも設置することが可能です。 メニューやカウンターなど、幅や大きさを必要としないプラグインがおすすめです。
③	メインカラム	センターカラムとも呼びます。主な記事をページごとに設置します。 ブログや各種お知らせなど、サイト内でメインに表示したいプラグインがおすすめです。
④	右カラム	左カラムと同じです。
⑤	フッターカラム	ヘッダー同様、全てのページに同じフッターを設置することもできます。 固定記事を置いてサイトの情報を表示させたり、リンクリストを設置したりします。

※上の図のように、一部のカラムがグレースアウトしている場合、そのカラムは使用することができません。

使用の可・不可は、サイト管理者が設定します。

1-4. フレームとは

Connect-CMS では、プラグインとフレームが紐づいています。それぞれの1つのフレームの中に1つのプラグインが設置されている状態です。

つまり、それぞれの記事を編集するということは、各フレームを編集するということになります。



例:

メインカラムの固定記事プラグインを編集
＝メインカラムの固定記事のフレームを編集

通常、編集する際には「固定記事のプラグインを編集」ではなく、「固定記事のフレームを編集」という表現をします。

2. ログインとログアウト

サイトを編集したり、特定のページを閲覧するには、サイトにログインする必要があります。



ログインは、画面右上にある「ログイン」を押下すると表示されるログイン画面から行います。

「ログイン」を押下すると、下のようなログイン画面が表示されますので、ここにログインIDとパスワードを記入してサイトにログインします。

ログイン

ログインID

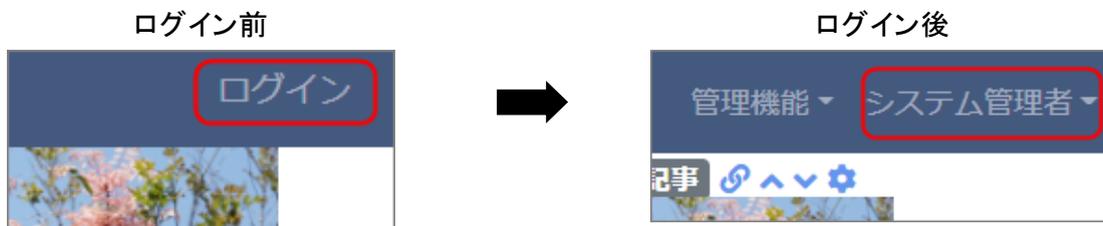
パスワード

ログイン状態を維持する。

[パスワードを忘れた場合。](#)

【ログイン画面】

ログインすると、画面右上がアカウント名に変わります。



💡 NC2の場合、一定時間が経つと自動的に強制ログアウトされていましたが、Connect-CMSの場合はブラウザを変えたり、キャッシュをクリアしたりなどしなければ、かなり長い間ログイン状態を保つことができます。

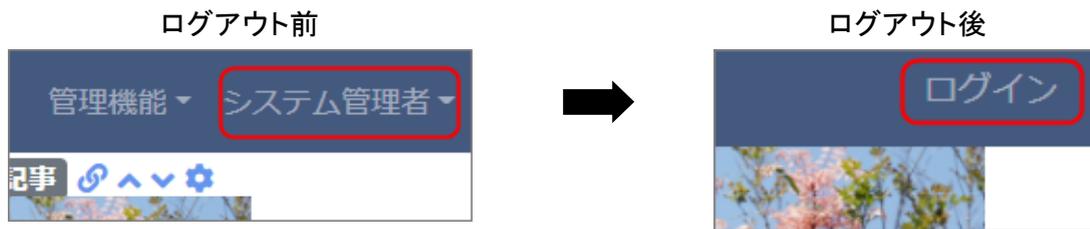
それでもさらに長い期間ログイン状態を保持したい場合は、ログインIDとパスワードを入力する前に「 ログイン状態を維持する。」に✓を入れておきます。すると、さらに長時間ログイン状態を保つことができます。

ただし、共通のPCを複数人で使用している場合は、この機能は使わずに終了時には必ずログアウトしてから終了するようにしましょう。

・パスワードを変更する場合はアカウント名の隣にある「▼」を押下 ➡ 「マイページ」 ➡ 「プロフィール変更」から変更します。



・ログアウトする場合は、アカウント名を押下 ➡「ログアウト」を押下します。ログアウトすると、アカウント名が「ログイン」に戻ります。



【ログインボタンが表示されていない場合】

※上記ログインボタンが表示されていない場合は、<https://〇〇〇〇/login> (〇〇〇はサイトのURL)にアクセスするとログインボタンが表示されますので、そこからログインすることができます。

3. ID・パスワードを忘れた場合

IDやパスワードを忘れてログインできなくなった場合は、以下のように対応します。

3-1. IDを忘れた場合

サイト管理者にメール等で確認してください。

3-2. パスワードを忘れた場合

アカウントが管理者によって管理されている場合と、それ以外の場合とではパスワード再設定の対応が変わります。

① 管理者がサイト及びすべてのアカウントを管理している場合
サイトの管理者に連絡してパスワードをリセットしてもらいます。

② それ以外

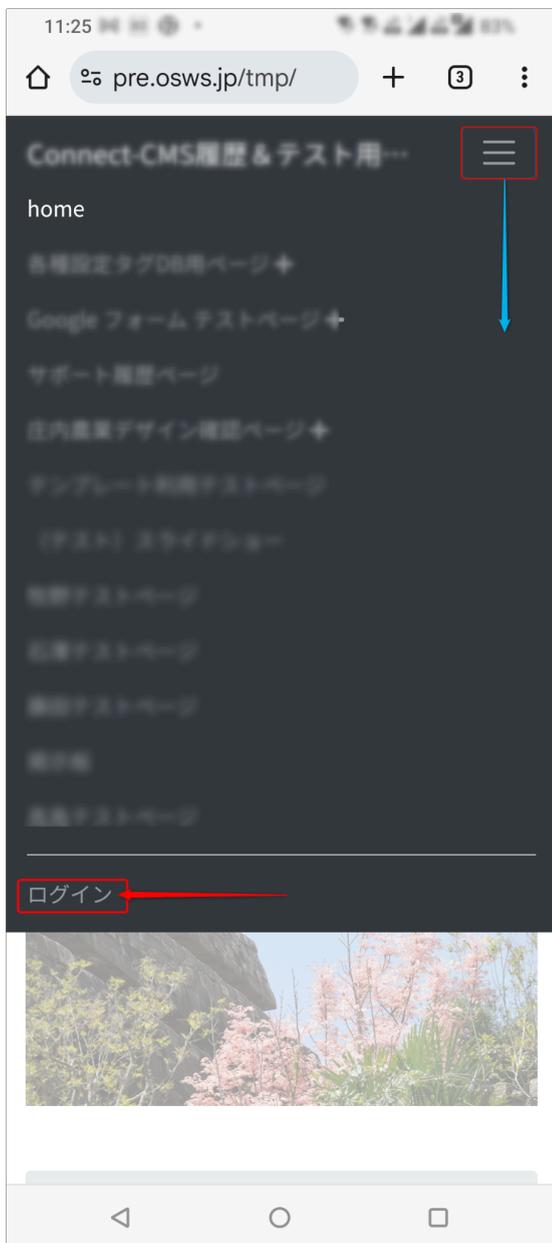
上記ログイン画面の「パスワードを忘れた場合。」からパスワードを再発行の手続きをとります。
サイトにメールアカウントが登録されている場合、システムから登録されたアドレス宛に再設定用のメールが届きます。

そのメールの指示に従って自分でパスワードを再設定することができます。

メールアカウントが未登録の場合は、①の「管理者がサイト及びすべてのアカウントを管理している場合」に準じます。

4. スマホでのログイン・ログアウト

スマホでのログイン・ログアウトは、次の手順で行います。

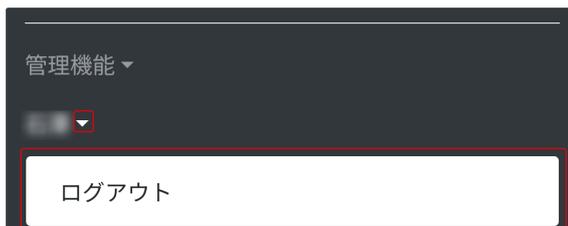


◆ ログイン

・画面右上の  ハンバーガーメニューをタップすると、メニューが開きます。

・一番下に「ログイン」がありますので、これをタップします。

・タップすると、ログイン画面が開きますので、ここにID・パスワードを入力します。



◆ ログアウト

・ログイン時と同様、右上のハンバーガーメニューをタップします。

・下にスクロールしていくと、アカウント名が表示されています。

・アカウント名の右にある「▼」をタップすると、「ログ

アウト」が表示されますので、それをタップしてログアウトします。

ログイン状態が維持される時間

Connect-CMS は、「ログイン状態を維持する」にチェックなしでログインした場合、120分間ログイン状態は維持されます。

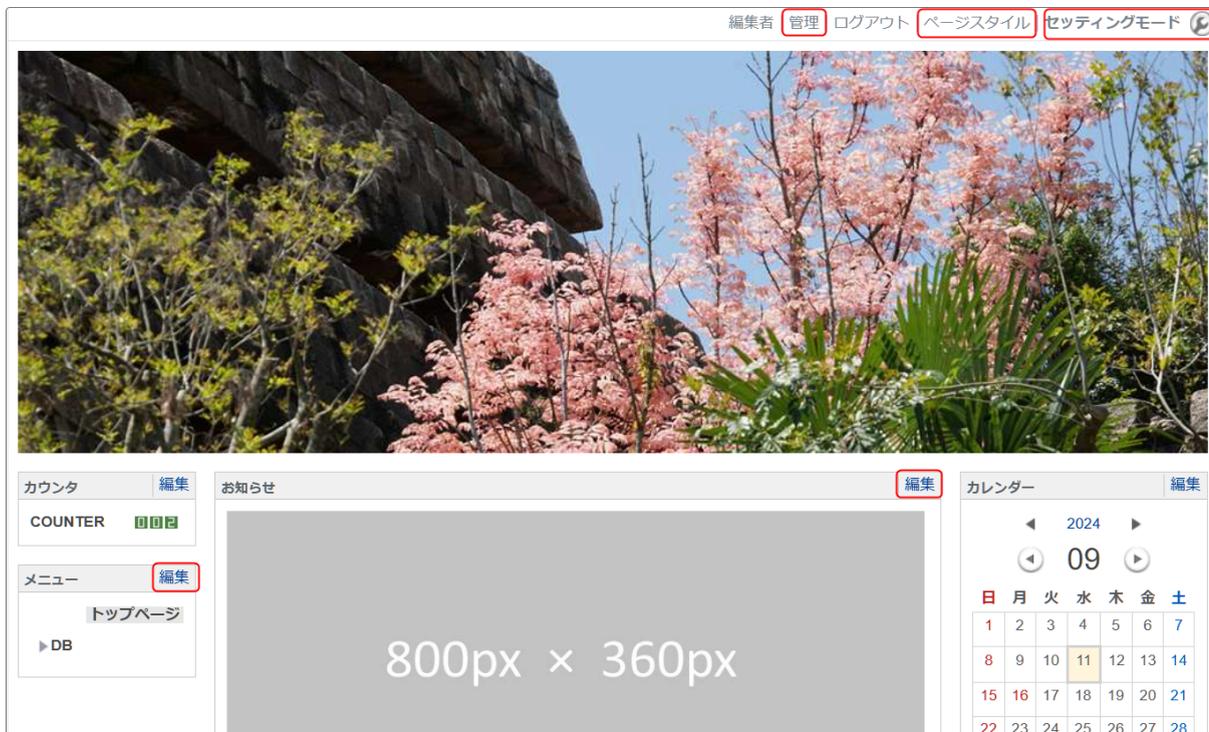
条件は以下のとおり

- ・ログイン状態で最後にアクセス(サイト内のどこかリンクをクリックしてページなどの再読み込み)してから、上記の時間、ログイン状態(セッション)が維持されます。
- ・最後にアクセスしてからなので、2時間以内にアクセスしたら、そこからまた2時間です。

◆ NC2と Connect-CMS の違い

次はNC2と Connect-CMS の主な操作方法の違いを説明します。

NC2では、編集権限のある主担でログインすると以下の画面が表示されていました。



一方、同じフレームを Connect-CMSで配置するとこのようになります。



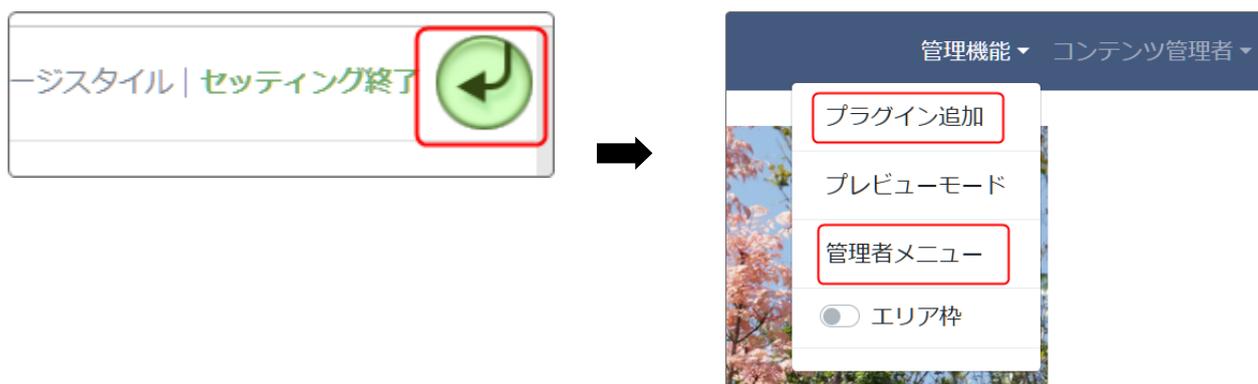
次に、NC2と Connect-CMS の操作方法の違いを詳しく説明します。

1. セッティングモードについて

ページの編集権限（NC2では主担権限）があるアカウントでログインすると、画面右上に「セッティングモード」ボタンがあり、各モジュールの追加、移動などの作業ができていました。

Connect-CMS では、「セッティングモード」ボタンがありません。
権限のあるアカウントでログインすると、すでに編集可能な状態になっています。

では、NC2でセッティングモードにして行っていた各機能はどこから設定するか、というとすべて画面右上の「管理機能」から設定します。



Connect-CMS でプラグイン追加などの機能を表示するには、「管理機能」の右側にある「▼」を押下します。

※「▼」を押下したときにはアカウントの権限で許可された機能のみ表示されます。

2. プラグインの追加

NC2では各プラグイン(モジュール)を追加する際には、セッティングモードにしてエリアごとに追加する必要がありましたが、Connect-CMS ではセッティングモードにする必要がありません。権限のあるアカウントでログインするとすぐにプラグインを追加することができます。さらにエリアごとに追加ではなく、1画面で目的のエリアにプラグインを追加することができます。

【NC2と Connect-CMS のプラグイン(モジュール)の追加方法】



◆NC2では

セッティングモード⇒目的のエリアで「モジュール追加」を押下して、追加したいモジュールを選択します。

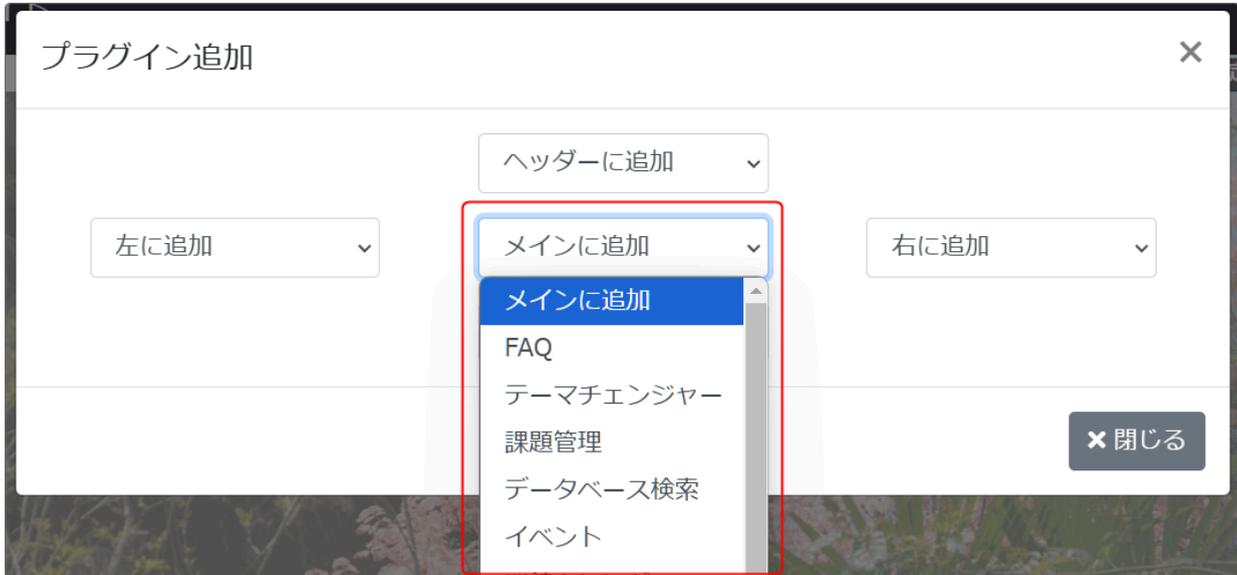
そのエリアに選択したモジュールが配置されます。

別のエリアにモジュールを追加するためには、追加したいエリアで「モジュール追加」を押下して追加する必要があります。



◆Connect-CMS では

一方、Connect-CMS では、どのエリアにプラグインを追加したい場合でも、管理機能⇒「プラグイン追加」を押下します。



全エリアが表示されますので、追加したいエリアのプラグインをここから追加することができ、プラグインの追加を一ヶ所で設定することができます。

3. ページ管理関係

NC2では公開ページに対応する「パブリックスペース」、ログインが必要なアカウントのみに公開する「グループスペース」があり、コントロールパネルからそれぞれのスペース内に「ルーム」を作成⇒サイトに戻り、メニューから「カテゴリ」や「ページ」を作成という手順を取っていました。そのため、「カテゴリ」や「ページ」の削除は「メニュー」から、「ルーム」は「管理」⇒「コントロールパネル」⇒「ルーム管理」⇒「パブリックスペース」や「グループスペース」から「準備中にする」(削除不可)と、いくつもの手順を踏む必要がありました。

一方、Connect-CMS では「パブリックスペース」、「グループスペース」、「ルーム」という概念はありません。

すべて「管理機能」の「ページ管理」からページの追加、削除、順番変更、ページごとのスタイル設定やページの削除などを行うことができます。

また、各ページの階層は(固定URLにかかわらず)全てデフォルトでは同列に扱われます。

そして、公開(パブリック)ページとログインが必要な(グループ)ページもそれぞれ単一の「ページ」として扱われ、必要に応じて各ページにアクセスできるアカウントを登録して制御することができます。

具体的に、NC2では以下のように設定箇所が複数あり、いくつもの工程が必要でした。

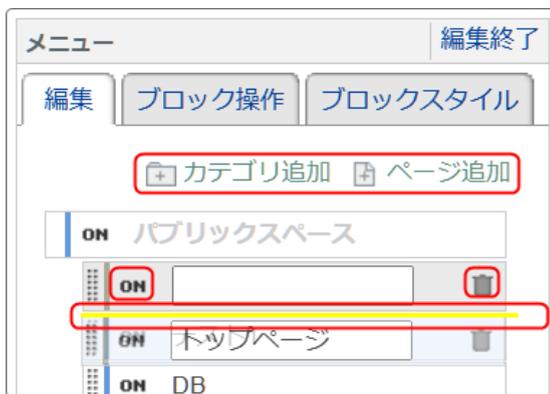
① ルームの作成と詳細設定や参加者、削除などは管理画面のコントロールパネル⇒ルーム管理から



② ページスタイル(レイアウト)は各ページの右上、「ページスタイル」から

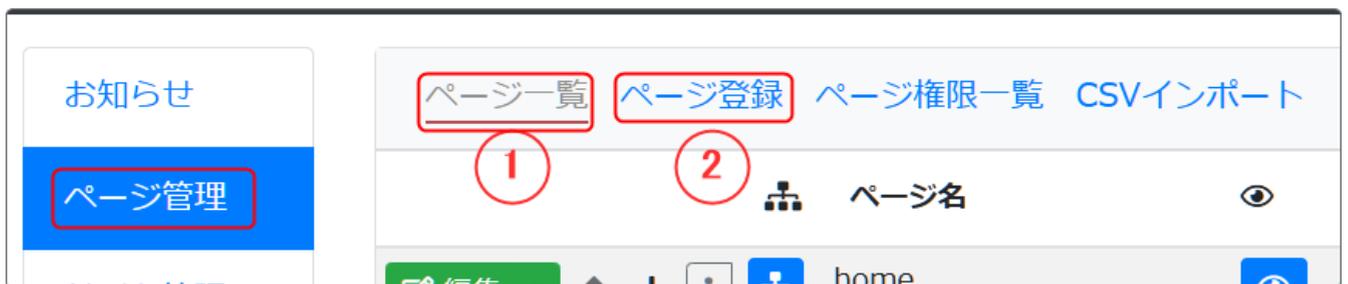


③ 管理画面で作成したルーム内にページを追加や削除、メニューに表示設定、ページの移動などは、メニューの編集から



一方、Connect-CMS では、「管理機能」⇒「管理者メニュー」⇒「ページ管理」でページの管理に関する様々な設定が一ヶ所です。

・Connect-CMS



3-1. ① ページ一覧

ページ管理を押下すると一番最初に開く画面です。

ここでは、作成されている全ページの設定状況確認やページの階層の変更などが設定できるほか、各ページの詳細設定へのボタンが用意されています。

NC2でメニューから設定していた機能がすべてここから設定することができます。

ページ名の変更		このボタンから開く詳細画面で変更します。
ページの順番変更		NC2ではページをドラッグ & ドロップで動かしましたが、上下の矢印で変更します。
ページの階層変更		このボタンを押下すると、当該ページをどのページの下層にするか ² を設定できます。
メニューに表示・非表示の設定		上記「編集」ボタンで開く詳細設定から変更することもできますが、このボタンから設定することもできます。
ページ削除	 	このボタンから開く詳細画面で削除できます。ページを削除すると、基本的に復元できないので、削除するときには慎重に削除しましょう。

3-2. ② ページの登録(新規作成)と詳細な設定

「ページ登録」のタブを押下すると、新規ページ作成用の画面が開きます。

ここから以下の設定を含む詳細な設定が可能です。

- ページ名
- 固定リンク
- ページのレイアウト
- メニューに表示・非表示設定

など。

 **すでに作成したページの設定を変更するには**

新規作成の場合は、「ページ登録」タブから設定しますが、すでに作成済みページの設定を変更したい場合は、「ページ一覧」タブの  を押下します。

新規作成時と同じ設定画面が開きますので、そこから設定を変更することができます。

² NC2で「ルーム」の配下に「カテゴリ」や「ページ」を配置したように、Connect-CMS ではここで特定のページを別のページの配下に設定が可能です。

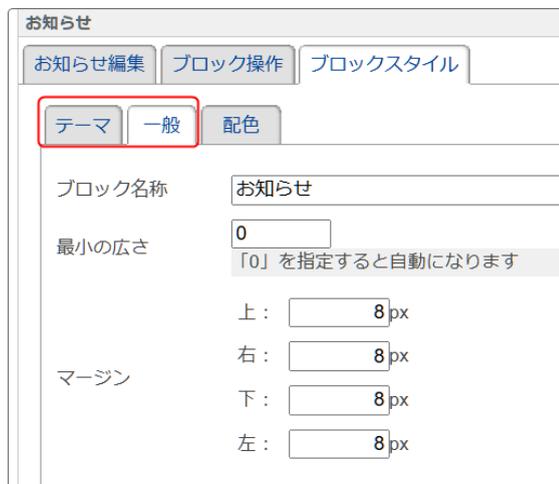
4. フレーム関係

ページにプラグインが追加できたら、次は各フレームの設定や移動、基本的な編集方法を説明します。

4-1. フレームのタイトル、デザイン、幅の変更

NC2ではフレームのタイトル、デザイン、幅などはすべて「編集」⇒「ブロックスタイル」から設定しました。

・NC2



さらに、NC2ではフレームの幅は数字(ピクセル)で指定していました。

Connect-CMS では設定は各フレームのタイトル右上にある     の中の歯車マーク⇒「フレーム編集」から設定します。

・Connect-CMS



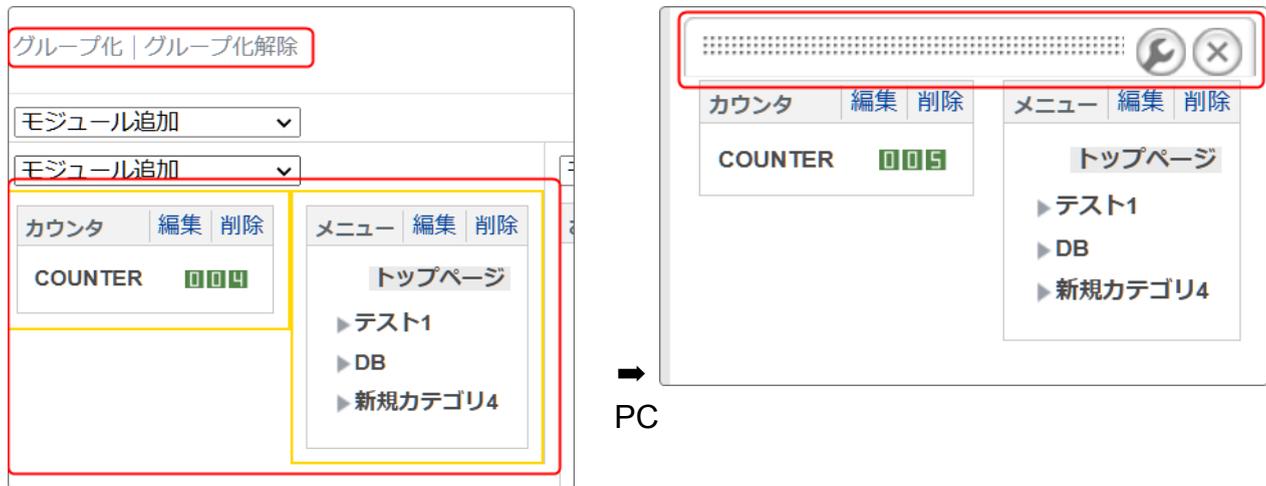
フレーム幅については、Connect-CMS では、エリア内の幅一杯に占める割合を100%とし、それを12で割った数値で幅を設定します。

※幅を「6」に設定すると、PCで閲覧した時にそのエリアの半分の幅になります。

【NC2のフレームのグループ化について】

NC2では、複数のフレームをグループにまとめて1つのフレームのように設定することができ、それをフレームの「グループ化」といいます。

グループ化して1つのフレームにすることで、複数のフレームを横並びに配置したり、同時に移動させることができ便利な機能ですが、逆に1つのフレームになってしまうために、誤って全部のフレームを一度に削除したり、スマホにしたときに画面からはみ出してしまう等のデメリットがありました。



Connect-CMS では全てのフレーム幅を割合で設定しているため、画面の大きさに合わせて自動的に並び方やフレームの大きさを変更してくれます。



例えばConnect-CMS の場合は、「フレーム幅」をそれぞれ「6」にすると、PCのような大きな画面だと左のように横に並びます。



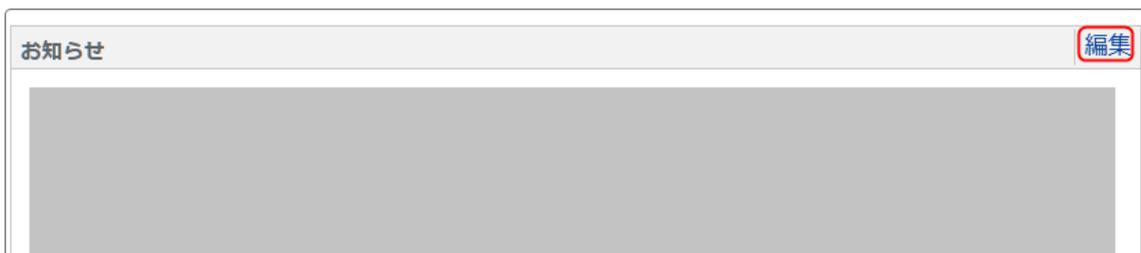
スマホやタブレットなどの小さな画面の場合は、フレームは自動的に縦に並びます。

※縦になると、編集ボタンの形も  に変わります。

4-2. フレームの編集

固定記事プラグイン(お知らせモジュール)などのフレームに記事を作成・編集する場合、NC2ではフレーム内の任意の箇所をダブルクリックするか、フレーム右上の「編集」ボタンを押下してWYSIWYG画面を開いていました。

・NC2



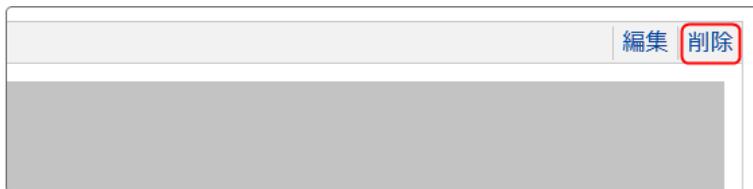
・Connect-CMS



Connect-CMS では、記事を作成・編集するには、
 **編集** や  **新規登録** などのボタンを押下します。(プラグインによってボタンは変わります)
 WYSIWYG画面などの編集画面が開きますので、ここから作成・編集し、「確定」します。

4-3. フレームの削除

NC2では、フレーム削除は、セッティングモードにすると出てくる「削除」ボタンから削除できました。



Connect-CMS では、歯車マーク⇒フレーム削除 から削除します。



5. 記事をきれいに仕上げるコツ

NC2と Connect-CMS では、前述したようにかなりサイトの見た目も変わります。今までの記事の作成方法だと、思ったようにきれいに仕上げるできないことがあります。

記事を簡単・きれいに仕上げるには、次のことに気をつけて記事を作成しましょう。

5-1. つねにスマホで見るとを念頭に記事を書く

現在では、サイトを見る際に子どもから大人までおおよそ半分以上の人がスマホからアクセスをしています。

Connect-CMS は、PCで作成した画面が自動的にスマホ対応になります。つまり、スマホで見た時にどのように見えるかを意識して記事を作成することが非常に大事になります。

PCで記事を作成するときにはスマホを横に置いて、実際にどう見えるかを確認しながら記事を作成すると、とても見やすいサイトになります。

5-2. Word で記事を作成してはいけません

NC2で記事を作成するとき、Wordで下書きをしたものをそっくりそのままWYSIWYGの編集画面にコピー&ペーストしていませんか？

これは絶対にやめましょう。

なぜなら、Wordで作られた文章は、独特のタグ(サイトを構成する言語における書式・装飾指定)があるためです。

Wordで作った文章をそのままコピーしてくると、それらの書式を全部引き継いでしまいます。すると、文字全体が別のフレームとまったく違うフォントや大きさになったり、後日編集する際にも思うように編集ができなくなってしまいます。

記事を書くときには、WYSIWYG画面に直接書き込んでしまいます。ほとんどのフレームには「一時保存³」という機能があります。上手に使いながら編集しましょう。

³ 「一時保存」がないプラグインや、一時保存で過去の記事を編集しても変更決定するまでは以前の記事が表示されるままになる場合もあります。

💡 Word で下書きした文章をコピー＆ペーストするときには

どうしてもWord で下書きした文章を使いたい場合は、次の方法があります。

- ① Word で作った文章を一度テキストエディタ⁴にコピーします。
- ② それを全部選択して、WYSIWYG画面に貼り付けます。貼り付けたものは、全ての書式や装飾が排除されています。
- ③ 当然形は崩れてしまいますので、WYSIWYG内で再度装飾・編集し直します。

5-3. スペースで体裁を整えてはいけません

例えばタイトル文をセンターに入れたい時や、頭に数文字分の空白を入れたい時など、スペースを使って体裁を整えていませんか？

この場合、PCでサイトを見た時にはきれいに揃いますが、スマホで見ると変なところで文が切れていたり、思った箇所に文字が配置されません。

WYSIWYG編集で体裁を整えるときには、スペースを使わずメニューの中にある「中央揃え」や「インデントを増やす」などの機能を使いましょう。

スマホで見ると

これは、前に2文字分のスペースを入れて揃えて入力したものです。

これは、前にインデントを使ってスペースを入れて揃えて入力したものです。

これは、前に2文字分のスペースを入れて揃えて入力したものです。

これは、前にインデントを使ってスペースを入れて揃えて入力したものです。

赤枠内はスペースを入れて編集したもの、青枠内は「センタリング」「インデント」などの編集機能を使用して編集したものです。

PC画面ではほぼきれいに並びますが、スマホにすると変なところに配置されてしまっています。

WYSIWYG内で文字のセンタリングやインデントを利用するには、次の機能を使います。

⁴ 文字情報のみのファイルを作成するソフト。代表的なものに、Windowsなら「メモ帳」、Macなら「テキストエディット」などがあります。



① 文字を配置する場所を指定します。右揃え、センター、左揃え、両端揃えなど

② インデントの増減を指定します。

※その他、文字の大きさや文字の修飾も指定できます。文字の大きさは、16pxが基本の100%になります。

5-4. 表は直接WYSIWYGで作成

同様に、表を文章内に入れる場合も、Wordで作成せず、直接 Connect-CMS のWYSIWYG編集で作成しましょう。

Wordで作成した表はスマホにしたときに画面からはみ出してしまい、横にスクロールしないと全容を見ることができなくなります。

[無題]			
数量	説明	単価	合計
10	これはWordで作成した表を貼り付けたものです	10	100
数量	説明	単価	合計
10	これは直接表を作成したものです	10	100

スマホで見ると

➡

[無題]			
数量	説明	単価	合計
10	これはWordで作成した表を貼り付けたものです		
数量	説明	単価	合計
10	これは直接表を作成したものです	10	100

このように、Wordで作成した表は幅が決められてしまうため、スマホで見た時に途中で表が切れてしまい、横にスクロールしないと表全体を見ることができません。

一方、Connect-CMS のWYSIWYG画面で直接作成した表は、自動的に画面の大きさに合わせて表の幅を自動調節します。

※これを「レスポンス対応」と言います。

サポートについて

サイトに関するご質問は以下の窓口からご連絡ください。

お問い合わせサポート窓口

電話: 03-5534-8088

メール: support@opensource-workshop.co.jp

お問い合わせフォーム: <https://support.osws.jp/cc-form>

※[営業時間]9:00～17:30

(土・日・祝日及び年末年始等は除く)

メール、お問い合わせフォームからのご質問は365日24時間お受けしておりますが、返信は翌営業日以降になります。

株式会社オープンソース・ワークショップ

公式サイト <https://opensource-workshop.jp/>